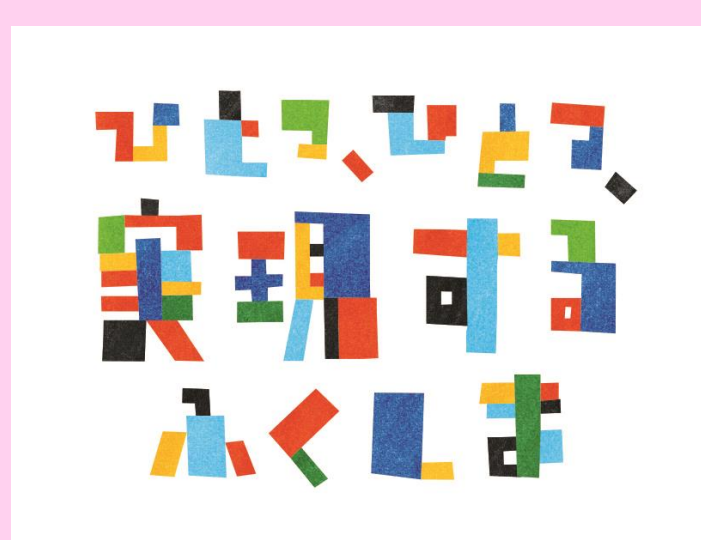




環境創造センター放射能調査課では、空間線量率と環境試料の放射能のモニタリングを行っています。

県内メッシュ調査

帰還困難区域を除く県内全域を2kmのメッシュに分け、空間線量率を測定しています。

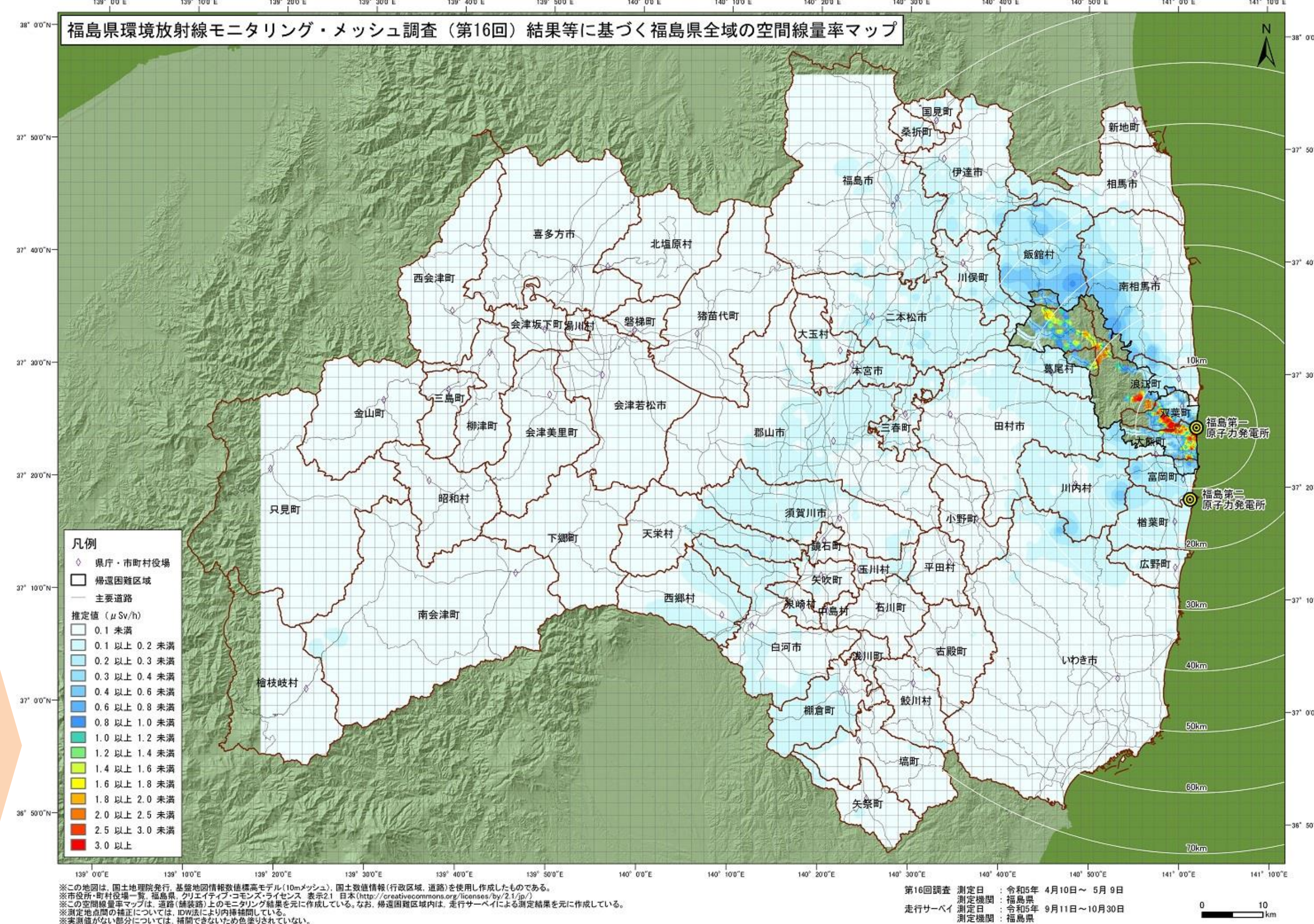
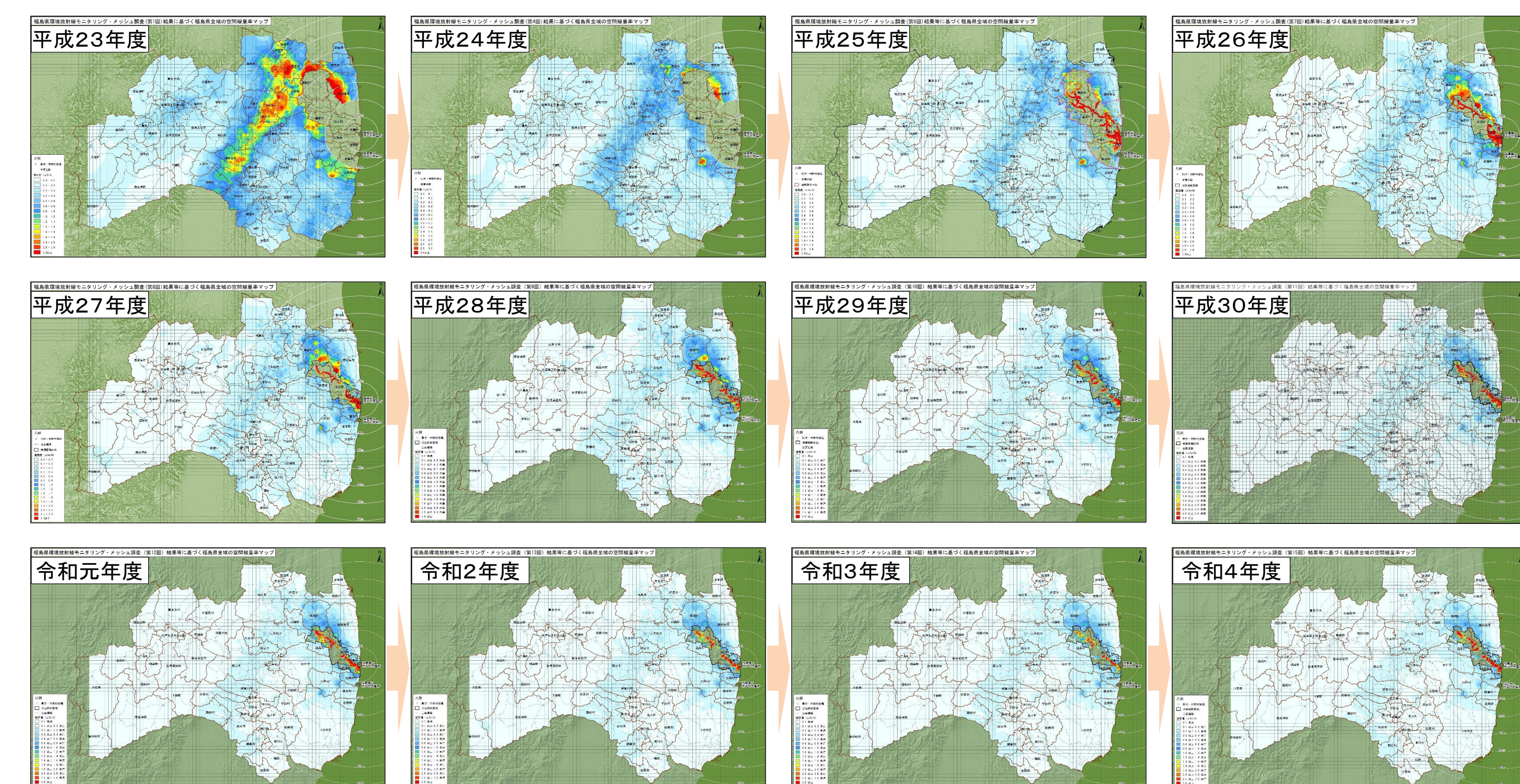
平成23年度に実施した第1回調査では、 $0.2\mu\text{Sv/h}$ 未満の地点数の割合は19.2%でしたが、令和5年度の調査では95.6%となっています。

また、第1回調査では、 $1.0\mu\text{Sv/h}$ 以上の地点が396地点（22.3%）ありましたが、令和5年度の調査では $1.0\mu\text{Sv/h}$ 以上の地点はありませんでした。

福島県内の空間線量率は、原発事故直後に比べ、大きく減少してきています。



空間線量率測定の様子



空間線量率マップ（平成23年度～令和4年度）

空間線量率マップ（令和5年度）

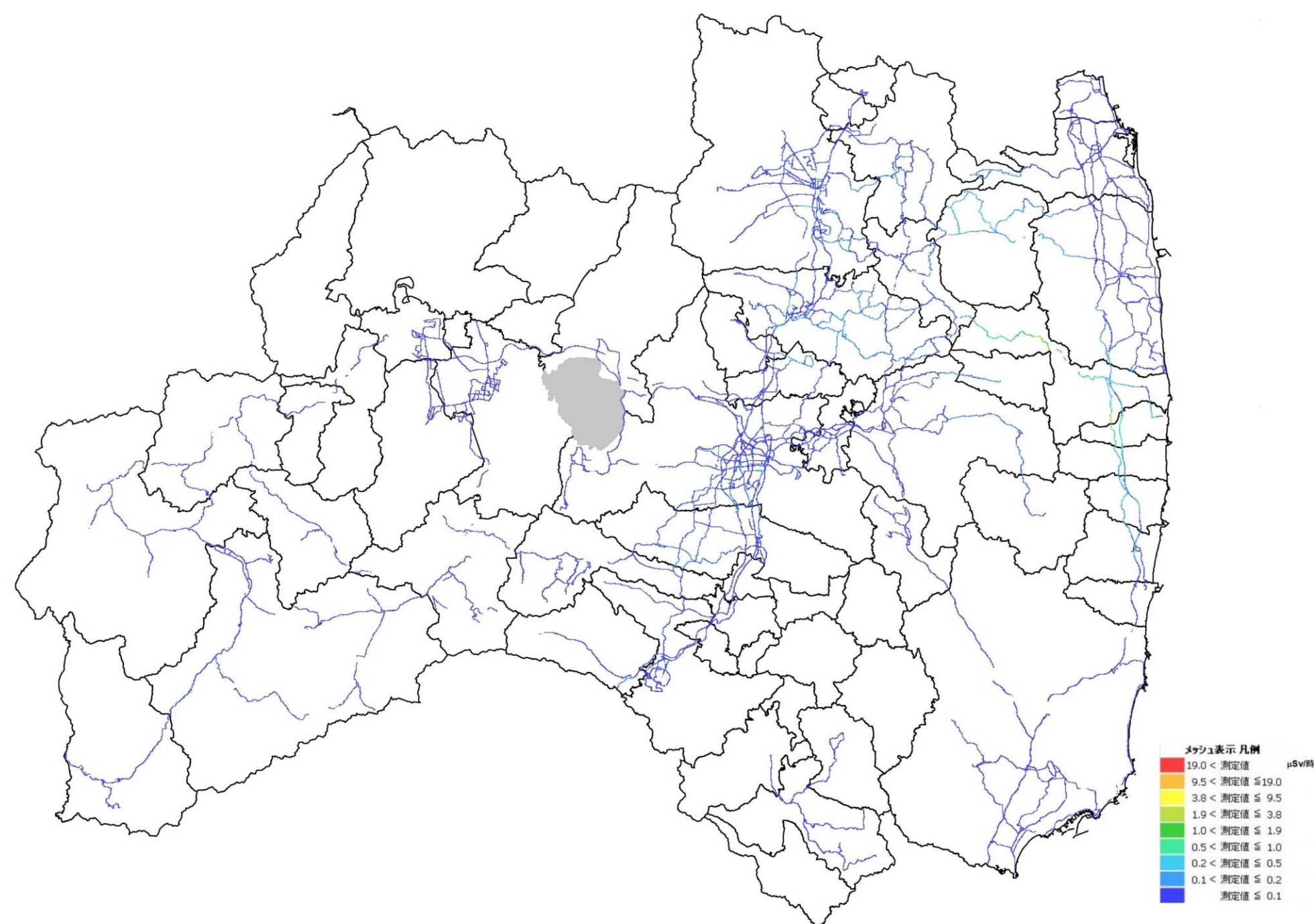
県内メッシュ調査の結果に帰還困難区域で実施した走行サーベイの結果を加えて空間線量率マップを作成しています。

(参考)

原発事故前（平成22年度）における県内の空間線量率（自然放射線）のレベルは、 $0.02\sim 0.13\mu\text{Gy/h}$ （地上1m）です。（ $\mu\text{Gy/h}=\mu\text{Sv/h}$ ）

走行サーベイ

地上での空間線量率を面的に測定するため、GPS連動型空間線量率自動記録システム「KURAMA」を利用した走行サーベイを実施しています。

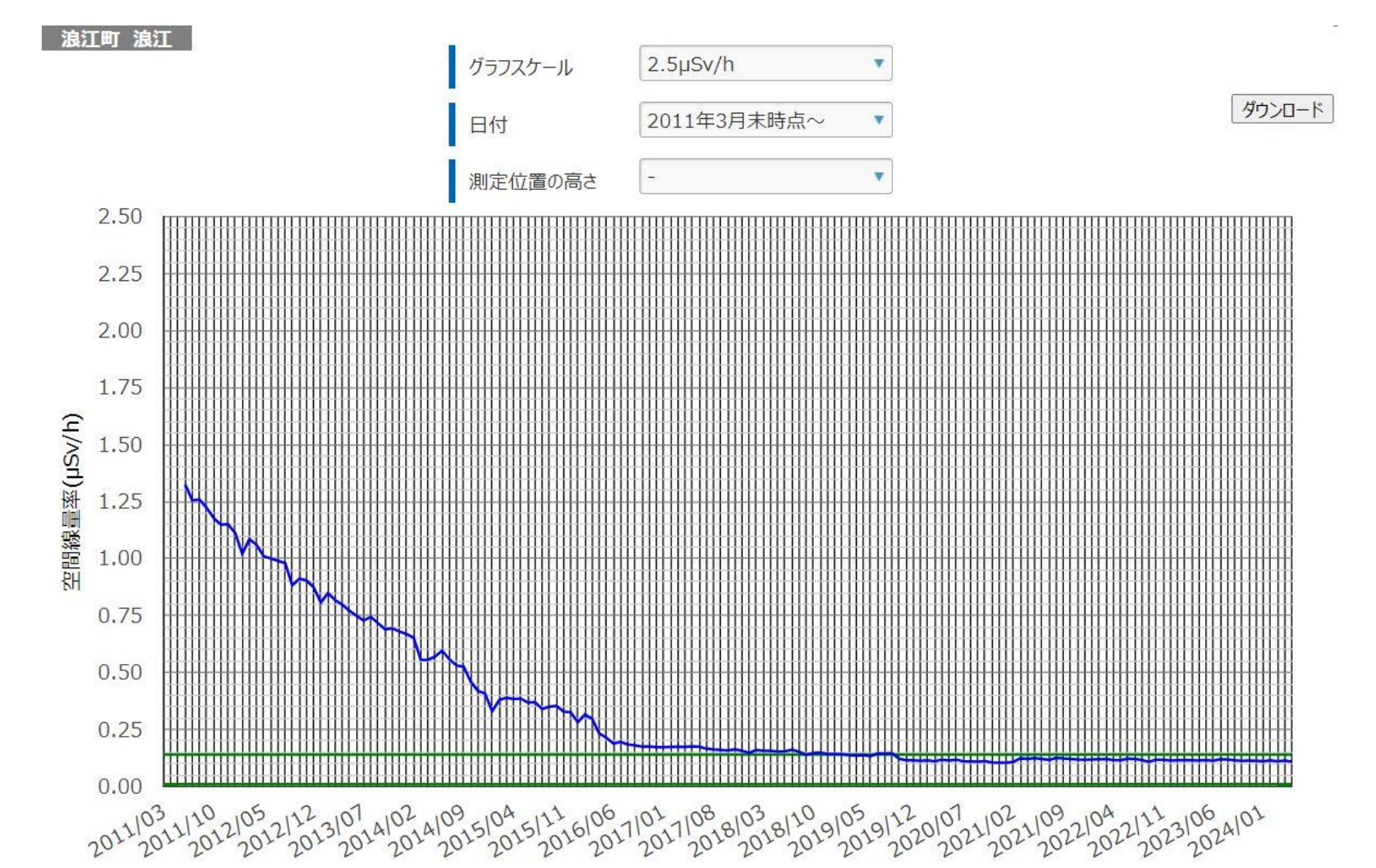
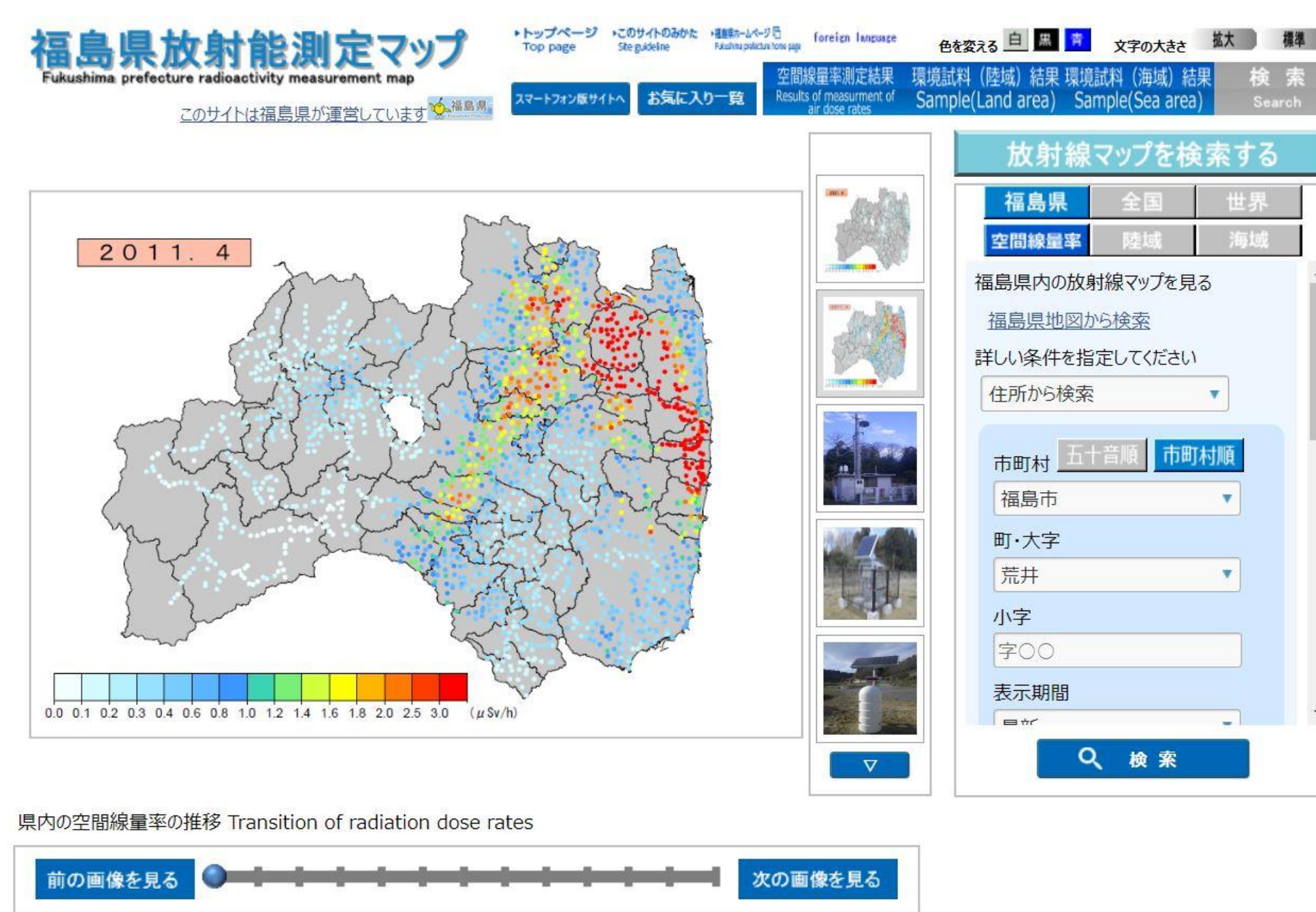


走行サーベイ結果（R5.6.25～7.1）

その他のモニタリング

原子力発電所周辺地域の監視測定結果の評価解析に使用する比較対照地点調査を実施しています。

また、県内各地における集会所、学校等の空間線量率の測定等、住民ニーズに応えたモニタリングを実施し、福島県放射能測定マップで分かりやすく公表しています。



マップから表示できるグラフ